

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

詳細版

CDP1段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP1（訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる）		初回(月 日)			2回目(月 日)			3回目(月 日)		
ドメイン	CDP1（詳細版）	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
分類	新卒・新任									
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	自身の侵襲性を自覚し、対象者を脅かさずに一緒に過ごす								
		対象者・家族に対し、適切な距離感を持つ必要性を理解する								
		対象者の訴えを否定せずに聞き、あるがままを共感を持って受け入れ、時間を共有する								
		関係を構築することの大切さを知る								
		自身が対象者に対して抱く感情を自覚する								
		自身の実践や感情について、事業所内で発言する								
		周囲の反応や助言を受けた際の自身の感情を意識する								
	生活のニーズと主体性	対象者の生活を支えるために把握すべき情報が何かを理解する								
		対象者が主体的にできることを把握し、その背景を理解する								
	疾患の症状と生活への影響	一般的な精神症状（思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠、幻覚妄想等）を理解する								
		一般的な精神症状（思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠、幻覚妄想等）への対応方法が分かる								
		対象者の精神症状を、疾病特性、自我機能、生活や環境要因から理解する								
		身体疾患に関する既往歴、現病歴、治療（服薬内容や医療的処置）を理解し、必要な療養上の支援方法が分かる								
本人の心身の状態の受け止め（病感）を把握する										
セルフケア	対象者の言動・表情などから、精神症状がどの程度生活に影響しているのか、また、なぜそのような言動になっているのかを考える									
	対象者の現在のセルフケアレベルを把握・評価し、セルフケア不足が生じた要因について考える									
薬物療法の理解と服薬管理	定時薬の種類、作用と副作用を理解し、意識して観察・対応する									
	頓服薬使用時に対象者の状態像や使用後の効果・副作用の有無を観察し、報告する									
危機対応	対象者の精神面や身体面の状態が悪化する要因を理解・把握する									
	自傷他害の恐れ、自殺念慮等緊急性のある状態を発見した場合、ただちに報告し、指示にしたがって行動する									
社会資源	医師をはじめ、対象者に関わる関係職種・ケアチームを把握する									
	非薬物療法（グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等）の特徴や意味について理解する									
家族支援	社会福祉制度や地域の関係機関（相談支援機関や保健福祉行政など）について知る									
	対象者の家族内での役割や勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握する									
自己啓発・自己学習	精神科訪問看護基本療養費の届け出要件を満たす研修を受ける									
	精神保健福祉法の目的を理解する									

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

詳細版

CDP2段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP2（訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる）		初回(月 日)			2回目(月 日)			
ドメイン	CDP2（詳細版）	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
	分類	一人立ち						
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	訪問できない場合でも、電話などを通して、対象者に肯定的なフィードバックや意図的に気にかけていることを伝える						
		対象者・家族に対し、適切な距離感を持つ必要性を理解する						
		対象者と家族や関係者に関心を示し続け、両者を尊重しつつ、看護職として寄り添い、伴走者としての思いで関わる						
		関係性を保つことの難しさを知る						
		対象者に対する自身の感情を表現し、助言を得ながら適切に対処する						
		自身の実践を振り返り、意味づける						
	生活のニーズと主体性	他者の助けを借りながら実践の課題を明確にし、次に活かす						
		対象者・家族に関する情報からニーズを捉える						
	疾患の症状と生活への影響	対象者が主体的にできることが増やせるよう、生活に密着した支援を考える						
		対象者の身体疾患に対し、必要な療養上の支援を実践する						
		精神面へのアプローチの一環として、身体疾患のケアの重要性を理解し、実践する						
	セルフケア	生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮した生活支援（栄養・保清・睡眠など）を行う						
		対象者・家族と関わりながら精神状態をアセスメントし、希望を支える個別的な看護計画をともに立案・説明する						
	薬物療法の理解と服薬管理	対象者の状態変化について、原因・きっかけに基づいて整理し、対象者ができるセルフケアを見出せるよう支援する						
対象者のセルフケア不足について、疾病や生活に対する認識を確認しながら、日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断する								
危機対応	対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助を行う							
	頓服薬を対象者の個別性に合わせて使用し、使用の妥当性をその都度アセスメントする							
社会資源	精神面や身体面の状態が悪化した際の緊急訪問の要否について相談する							
	緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているかを判断し、応援を呼び、自立して対応する							
	ケアチームの中で連携を取り、円滑な関係を構築する							
家族支援	非薬物療法（グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等）が対象者にとって効果的かどうかを検討する							
	社会福祉制度や地域の関係機関（相談支援機関や保健福祉行政など）に対し、対象者の支援について相談する							
自己啓発・自己学習	対象者・家族それぞれの思いを率直に表出できるよう、意図的に一緒に過ごしたり、別々に関わるなど工夫する							
	人権、倫理、権利擁護について学ぶ							

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

詳細版

CDP3段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安
 1『できない』
 2『指示や確認がないと行動できない』
 3『促しがあれば行動できる』
 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 5『できる』

CDP3（訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる）		初回（月 日）			2回目（月 日）		
ドメイン	CDP3（詳細版）	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
分類	一人前						
在宅看護過程	関わり の 在り方と 自己覚知	どのような状況にあっても、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるよう、根気強く関わる					
		対象者・家族に対し、適切な距離を保って関わる					
		対象者と家族や関係者のできていることや、わずかな変化に気づく					
		関係性を構築し、良好に維持する					
		対象者に対する自身の感情をコントロールし、適切に対処する					
		自身の強みや弱みを理解し、それを看護に活かす					
		実践の根拠や自身の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返る 実践の根拠や自身の反応について振り返った結果を言語化し、他者と共有しながら、看護実践の向上につなげる					
	生活のニーズ と主体性	それぞれの関係性を理解したうえで、意図的に収集した情報を統合してニーズを把握する					
		対象者が主体的にできることを継続して実践できるよう、ケアの工夫や社会資源、既存制度の導入を検討する					
	疾患の症状と 生活への影響	対象者・家族の希望に添えない場合でも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応する					
対象者自身が精神症状をセルフコントロールしながら、自分の力や課題、置かれている環境を意識して行動できるよう関わる							
身体疾患の状況をアセスメントし、理解度や対処能力を考慮したうえで、対象者と共にケアし、自立に向けた課題を明確にする							
精神・身体の両側面から今後起こる可能性のあることを予測し、対処方法を実施する							
自立に向けた課題を明確にし、生活面での自立を図る							
セルフ ケア	対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメントし、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなど、充実した看護を展開する						
薬物療法の理 解と服薬管理	セルフケア不足だけでなく健康的な力も見出したうえで、先を予測しながら見通しをもって、今必要なケアを判断する						
	対象者・家族・関係者の思いを確認しながら、適切に薬物療法を受けられるよう支援する 頓服薬の使用についてセルフケアできるよう支援する						
危機対応	精神面や身体面の状態悪化時の緊急訪問の要否を判断する						
	緊急性のある事態が予測された際に未然に防げるよう対応し、また、緊急事態には他スタッフを指導しながら対応する						
社会資源	ケアチームの中で対等な関係を構築し、目標に向かって協働する						
	非薬物療法（グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、セルフヘルプ、ピアカウンセリング等）を理解し、対象者にとって適切な方法を検討したうえで、対象者・家族に説明し、利用に向けて支援する。 社会福祉制度や地域の関係機関（相談支援機関や保健福祉行政）について、対象者の生活を支えるために必要な資源を紹介する						
家族支援	対象者・家族それぞれの健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標を立て、根気強く介入する						
自己啓発・ 自己学習	他事業所と交流し、さまざまな支援方法や知識を得る						
	自身の看護実践を事例としてまとめ、報告する						

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

詳細版

CDP4段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

- 評価の目安
- 1『できない』
 - 2『指示や確認がないと行動できない』
 - 3『促しがあれば行動できる』
 - 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 - 5『できる』

CDP4（利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる）		初回（月 日）			2回目（月 日）		
ドメイン	CDP4（詳細版）	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
分類	中堅						
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者自身を理解したうえで、自己決定ができるように関わる					
		いかなる状況であっても相互に目標を共有し、実施・評価の際に対象者らの参加を促し、関わりを続ける					
		対象者との関係性を俯瞰的にみて、後輩指導に活かす					
		実践のなかで起こる自己や他者の反応を客観的に捉えて意味づけ・言語化し、適切な看護につなげる					
	疾患の症状と生活への影響	対象者が精神症状や能力に合わせた生活が送れるよう、よき理解者として関わる					
		身体疾患に対するケアについて、家族や関係者、多職種の協力を得て、対象者が実施できるよう支援する					
	セルフケア	対象者のセルフケア不足を補い、真のニーズを満たせるよう環境を整備する					
	薬物療法の理解と服薬管理	必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるよう、環境づくりを行う					
	危機対応	不測の事態にも他スタッフを指導しながら対応し、客観的に状況を把握したうえで、多職種チームの采配をする					
社会資源	ケアチームと協働し、チーム全体の調和を図りながら課題を解決する						
	必要な関係機関等と連絡を取り、日常・緊急時を問わず、連携した対応体制を取る						
家族支援	多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性を共に考えられるように関わる						
自己啓発・自己学習	日々の実践を通し、職場で研修・学習の機会を提供する						
	社会情勢や先行する知見に照らし、自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表する						

横浜市訪問看護師【精神看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

詳細版

CDP5段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

- 評価の目安
- 1『できない』
 - 2『指示や確認がないと行動できない』
 - 3『促しがあれば行動できる』
 - 4『多少の促しは必要であるが行動できる』
 - 5『できる』

CDP5（訪問看護の質向上に関わり、リーダーシップをとることができる）		初回（ 月 日）			2回目（ 月 日）		
ドメイン	CDP5（詳細版）	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
	分類	達人					
在宅看護過程	関わりの在り方と自己覚知	対象者と看護職の相互作用を通して自律に向けた関係性を築き、次の段階・支援につなぐ					
		感情コントロールが必要な場面で、教育的な役割を担う					
		看護過程を自らがロールモデルとなり、行動で示す					
	セルフケア	対象者の健康的な力を活かし、セルフケアを継続できる地域社会の実現について考える					
	危機対応	緊急事態に対応する地域のネットワークを構築し、連携・強化する					
社会資源		課題解決や協働のプロセスを通してチームメンバーの役割を評価し、ケアチームの成功した実践を一般化して共有する					
		対象者・家族・関係者が安心して楽しく過ごすことができる居場所を提供する					
		関係機関が連携して行った対応について関係者へフィードバックを行い、今後の支援に活かす					
家族支援		中堅以下のスタッフに対し、対象者・家族への関わり方の相談やサポート役を担う					
自己啓発・自己学習		これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるため、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流する					
		看護職の看護実践を研究としてまとめるプロセスを支援する					

公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科、一般社団法人横浜在宅看護協議会、横浜市医療局が作成